

第15回山梨県メディカルコントロール協議会 議事録

(平成27年3月17日掲載)

- 1 日時 平成27年3月12日(木)午後1時30分から15時00分
- 2 場所 山梨県庁防災新館406会議室
- 3 出席者(敬称略)
(委員) 中澤良英 松田兼一 松川隆 岩瀬史明 前田宜包 石本忠雄 武藤俊治 長坂光泰
水野栄(代理:望月英介) 尾曲郁雄(代理:坂本一郎) 萱沼保徳(代理:羽田吉男)
上原敏秀(代理:米山正明) 風間勇 久保欣史 小笠原宏(代理:小笠原克也)
佐藤茂(代理:加藤剛) 内田元晴 古屋好美 齋藤修 中野修
(事務局) 担当室長補佐 消防指導担当(2名) 医療整備担当
- 4 傍聴者の数 1名(メディカルオフィサー)
- 5 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 議事
 - (4) その他
 - (5) 閉会
- 6 会議に付した議案の案件
 - (1) 山梨県メディカルコントロール協議会全脊柱固定器具取扱要領(案)について
 - (2) 指導救命士に係る認定証交付に関する取扱要領(案)について
 - (3) 救急活動事後検証体制実施要領(案)について
 - (4) ビデオ硬性挿管用喉頭鏡 AWS-S200 について
 - (5) 平成27年度救急救命士病院実習割(案)について
 - (6) 平成27年度事後検証費用計算書(案)について
 - (7) その他
- 7 議事の概要
 - (1) 山梨県メディカルコントロール協議会全脊柱固定器具取扱要領(案)について
(議長) 議案どおりでよろしいか。
(委員) 議案どおりで承認。

 - (2) 指導救命士に係る認定証交付に関する取扱要領(案)について
(議長) 議案どおりでよろしいか。
(委員) 救急救命九州研修所以外で、消防大学の救急科も指導救命士として認定していただけることであるが、同様に認定していただけるのか。
(事務局) 基本的に各消防本部1名は救急救命九州研修所へ研修派遣していただきたい。消防大学で行っている救急科を修了した者も指導救命士として認定するよう通知がありましたので、消防大学救急科の修了者を指導救命士として認定する。しかし、消防大学校

への入校人数は確保が難しいため、本協議会としては救急救命九州研修所へ各消防本部1名の研修派遣を願いたい。

(議長) ご質問がなければ、議事2にご了承いただけますか。

(委員) 議案どおりで承認。

(3) 救急活動事後検証体制実施要領(案)について

(議長) 何か質問、意見等がありますか。議案どおりでよろしいでしょうか。

(委員) 議案どおりで承認。

(4) ビデオ硬性挿管用喉頭鏡 AWS-S200 について

(議長) この件に関しましては、実習機関からご意見をいただきたいがよろしいか。

(委員) 使い勝手も良く価格が安い、是非、こちらの喉頭鏡に移行されると良いと考えます。

(委員) 救急救命士の挿管実習の承諾を得た患者様が親類に相談した結果、やはりお断りしたいとの申し出が承諾を得た医師とは別の医師にあった事案がありました。患者様は長時間悩んだ結果の判断であったので、同意撤回書があれば同様な場合に撤回しやすくなると考え提案させていただいた。臨床研究事案でも患者様はいつでも撤回できることとなっているので、救急救命士の気管挿管実習も同様をお願いしたい。

(議長) ビデオ硬性挿管喉頭鏡及び同意撤回書について何かご意見はございますか。両案について一括して了承していただいでよろしいでしょうか。

(委員) 議案どおりで承認。

(5) 平成27年度救急救命士病院実習割(案)について

(議長) 質問、意見等ありましたらお願いします。

(委員) 議案どおりで承認。

(6) 平成27年度事後検証費用計算書(案)について

(議長) 平成22年当時に比べて件数が非常に増えているが、検証費用は現時点では一定であるとの説明でありました。

(委員) 事後検証はメディカルコントロールにおいて大きな使命でもある、救急全体の底上げのためにも必要であるので事後検証を実施することは名誉なことと考えている。増えた理由としては、患者様が増えたわけではなくドクターカー・ドクターヘリ及び処置拡大事案が増加している。事後検証をしている医師も大変だが、取りまとめているメディカルオフィサーも業務量が多く大変である。現在、1名体制のメディカルオフィサーを2名体制にすることも今後は必要と考えられる。

(委員) 他県の事例ですと全件を検証していないところもあるが、本県は全件実施で頑張りたい。

(議長) 今回は本案でご了承いただき、今後はメディカルオフィサーの人員増を含め持ち帰って検討していただいでありがたい。それでは、本件についてはご了承いただいでよろしいでしょうか。

(委員) 議案どおりで承認。

(7) その他

(議長) その他について何かありますか。

(委員) 昨今、特殊な感染症や多数の食中毒患者の発生及び災害など、医療現場に過剰な負担がかかる事態が想定されている、この様な場合、メディカルコントロールも大変な事態となることが予想されますが、感染症や食中毒など日常の救急業務や保健医療の調整をはかっています、有事を考えて平時の調整も訓練を含め考えていきたい。同一組織内で同一日時に訓練を行い医療圏域を超えた医療救護の調整を行いました。各地域でも消防と情報や意見交換を実施したいと考えておりますので御協力をお願いしたい。

(議長) 感染症等をふまえた事前の備えについて協力依頼がありました。その他、委員の方からご意見はありますか。

(委員) なし。

(議長) 事務局から何かありますか。

(事務局) なし。